

淡海のひととき

明智光秀に焦点をあてた大河ドラマ『麒麟がくる』は、今までは違う光秀を意識して描かれていきます。主人公を演じる長谷川博己さんに、演技にかけける思いや、光秀ゆかりの地・坂本で感じたことをお話しいただきました。



戦国時代に思いを馳せ、 新たな明智光秀に挑む！

俳優 長谷川博己さん

若き光秀を模索する

現代の人が見て共感できるドラマを作りたい、新しい明智光秀像を見ていただきたいという思いで演じています。

例えば、必要があれば上の人にも、ずばっと言いたいことを言い、知性と品性で突き進む。今の時代にこういう人がいたらいいなと思います。一方で、教養人として有能だからこそ、いろんなことを強いられてしまい、気の毒だなとも感じますね。脚本家の池端俊策先生は「本能寺の変を起こした光秀から逆算して考えないでほしい」とおっしゃっており、物語も血筋



や郷土を守りたいという一人の青年が戦国の世を歩き出したところから始まります。僕自身も、これまでのイメージにとられない新たな明智光秀像を作っていければという思いで、日々撮影に臨んでいます。

光秀と呼ばれて西教寺へ

昨年、『麒麟がくる』の撮影前に、西教寺の明智一族のお墓にお参りしました。実は、前にも西教寺を訪れています。

2018年に連続テレビ小説『まんぷく』のロケで日吉大社を訪れたんです。その時には大河ドラマの主演が決まっていたので、光秀ゆかりの地を調べると、日吉大社のすぐ近くに光秀の菩提寺・西教寺がありました。これが呼ばれたなと思いました。

坂本城跡から望む琵琶湖

坂本城址公園で、往時に思いを巡らせました。そこからの眺めもいいですね。目の前に広がる琵琶湖の風景は、戦国時代からあまり変わっていないのだからと思います。ちなみに、公園にある歌碑のボタン※を押ししましたよ。日吉大社へ続く石垣の坂道と琵琶湖が、強く印象に残っています。

光秀といえば滋賀。県民の皆さんに新しい光秀像を楽しんでいただけるように、がんばりますので、ぜひ、ご覧ください。



PRESENT

長谷川さんのサイン入り色紙をプレゼント!



※写真はイメージです。
※プレゼントの応募は15ページ「ほっとサロン」にて

▶ 大河ドラマ『麒麟がくる』NHK総合 よる8時～ ほか

※公園には、光秀像や光秀をしのぶ歌碑があり、ボタンを押すと鳥羽一郎が歌う唄『光秀(おとこ)の意地』が流れる